Creative Enzymes®

ヒト由来カスパーゼ-6（活性型）、組換え

Cat. No. NATE-0814

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カスパーゼ-6は、ヒトにおいてCASP6遺伝子によってコードされる酵素です。この遺伝子は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ（カスパーゼ）ファミリーのメンバーであるタンパク質をコードしています。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性な前□体酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基でプロテオリティック処理を受けて、大きなサブユニットと小さなサブユニットの2つを生成し、これらが二量体を形成して活性酵素となります。このタンパク質はカスパーゼ7、8、10によって処理され、カスパーゼ活性化カスケードの下流酵素として機能すると考えられています。カスパーゼ6は、カスパーゼファミリーの他のメンバーなしで自己処理を行うこともできます。この遺伝子の選□的スプライシングは、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリアントを生成します。
別名	CASP6; MCH2; カスパーゼ-6 (活性); カスパーゼ-6

製品情報

種	人間
由来	E. coli
外□	液体
形態	液体。50mM TRIS（pH 8.0）に100mM塩化ナトリウムと50mMイミダゾールを含む25µl中の5µg。
緩衝液	50mM TRIS（pH 8.0）、100mM 塩化ナトリウム、50mM イミダゾール

保管・発送情報

保存方法	-80°C